

# 安全データシート (SDS)

作成日： 2025年 2月 21日

改定日： 年 月 日

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名： シーブリーズ アイスドライシャンプー 95g  
会社名： 株式会社 ファイントウデイ  
住所： 〒108-0075 東京都港区港南二丁目16番3号  
品川グランドセントラルタワー18階  
担当部門：  
電話番号： 03-6864-0243  
FAX番号： 03-6864-0244  
用途と使用上の制限： ドライシャンプー（化粧品）

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類：

#### 物理化学的危険性

#### 健康に対する有害性

可燃性／引火性エアゾール：	区分1
急性毒性（経口）：	データなし
急性毒性（経皮）：	データなし
急性毒性（吸入）：	データなし
皮膚刺激／腐食性：	区分外
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性：	区分2A、2B
呼吸器感作性：	データなし
皮膚感作性：	データなし
生殖細胞変異原性：	区分1B
発がん性：	データなし
生殖毒性：	区分1A
特定標的臓器／全身毒性 （単回暴露）：	区分3（気道刺激性、麻醉性）
特定標的臓器／全身毒性 （反復暴露）：	区分1（肝臓）、2（神経）
環境に対する有害性	
吸引性呼吸器有害性	データなし
水生環境有害性（急性）：	区分外
水生環境有害性（慢性）：	データなし

### 絵表示又はシンボル：



#### 注意喚起語：

#### 危険有害性情報：

危険  
H222-極めて引火性の高いエアゾール  
H319-強い眼刺激  
H340-遺伝性疾患のおそれ  
H360-生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
H335-呼吸器への刺激のおそれ  
H336-眠気およびめまいのおそれ  
H372-長期にわたるまたは反復暴露による臓器（肝臓）の障害  
H373-長期にわたるまたは反復暴露による臓器（神経）の障害のおそれ

#### 注意書き：

【安全対策】  
すべての安全対策を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙  
 この製品を使用する時に、喫煙しないこと。  
 加圧容器：使用後穴をあけたり燃やしたりしないこと。  
 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。  
 屋外又は換気の良い区域のみで使用すること。  
 静電気放電や火花による引火を防止すること。  
 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。  
 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
 スプレーを吸入しないこと。  
 取り扱い後はよく手を洗うこと。

【応急処置】

火災の場合には適切な消火方法をとること。  
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。  
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。  
 衣類にかかった場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。  
 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。  
 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。  
 気分が悪い場合は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

日光から遮断し、40℃を超える温度に暴露しないこと。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。  
 情報無し。

国／地域情報：

3. 組成、成分情報

化学物質又は混合物： 混合物  
 GHS分類寄与成分等：

成分名(化粧品表示名称) 又は一般名	化審法番号	安衛法番号	CAS番号	重量%	備考
エタノール	(2)-202	—	64-17-5	10-20	—
オクテニルコハク酸テンプルンAL	(8)-550	—	9087-61-0	1-5	—
ミリスチン酸イソプロピル	(2)-798	2-798	110-27-0	1未満	—
PG	(2)-234	—	57-55-6	1未満	—
メントール	(3)-2333	—	2216-51-5	1未満	—
香料	非公開	—	非公開	1未満	—
液化石油 ガス (混合物)	プロパン	(2)-3	—	74-98-6	75-85 高圧ガス・ 可燃性ガス
	イソタン	(2)-4	—	75-28-5	
	ノルマルタン		—	106-97-8	
	イソペンタン	(2)-5	—	78-78-4	
	ノルマルペンタン		—	109-66-0	
	ブタン	(2)-17	—	106-99-0	

※NET=99g

4. 応急処置

吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 気分が悪い時は医師を呼ぶこと。  
 皮膚に付着した場合： 皮膚を速やかに洗浄すること。  
 皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを求めること。  
 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。  
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続け

ること。  
 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。  
**飲み込んだ場合：** 速やかに口をすすぎ、医師の診断を受けること。  
**予想される急症状及び遅発性症状：** 眼の発赤、痛み、灼熱感、皮膚の乾燥、吸入による咳、頭痛、疲労感、し眠及び、飲み込みによる灼熱感、錯乱、頭痛、めまい、意識喪失、皮膚に触れた場合の凍傷など  
**最も重要な徴候及び症状：**  
**応急措置をする者の保護：** 火気に注意する。保護マスクがあればそれを着用する。

## 5. 火災時の措置

**消火剤：** 小火災：二酸化炭素、粉末消火剤、散水  
 大火災：散水、噴霧水  
**使ってはならない消火剤：** 棒状注水  
**特有の危険有害性：** 極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。  
 加熱により容器が爆発するおそれがある。  
 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。  
 引火性の高い液体及び蒸気  
**特有の消火方法：** 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。  
 散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水する。  
 危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。  
 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。  
**消火を行う者の保護：** 消火作業の際は適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項：** 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。  
**保護具及び緊急時措置：** 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。  
 関係者以外の立ち入りを禁止する。  
 作業者は適切な保護具（「ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。  
 風上に留まる。  
 低地から離れる。  
 密閉された場所に入る前に換気する。  
**環境に対する注意事項：** 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。  
**回収、中和：** 少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。  
 大量の場合、盛土で困って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。  
 大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることができないおそれがある。  
**封じ込め及び浄化の方法・機材：** 危険でなければ漏れを止める。  
 漏洩物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。  
 蒸気抑制泡は蒸気濃度を低下させるために用いる。  
**二次災害の防止策：** すべての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。  
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

**取り扱い**  
**技術的対策：** 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
**局所排気・全体換気：** 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。  
**安全な取り扱い注意事項：** 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。  
 すべての安全注意を読み理解する迄取り扱いわないこと。  
 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。  
 この製品を使用する時に、喫煙しないこと。  
 接触、吸入又は飲み込んでではない。

眼に入れてはならない。  
 スプレーを吸入しないこと。  
 取り扱い後はよく手を洗うこと。  
 「10. 安定性及び反応性」を参照

**接触回避：**  
**保管**

**技術的対策：**

**保管条件：**

保管場所には必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。  
 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。一禁煙。  
 冷所、換気の良い場所で貯蔵すること。  
 直射日光や火気を避けること。

**混触危険物質：**

**容器包装材料：**

「10. 安全性及び反応性」を参照。  
 高圧ガス保安法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

成分名(化粧品表示名称) 又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準-管理濃度	ACGIH (TLV-TWA)
エタノール	—	—	1000 ppm
オクテニルコハク酸テトラソールAL	—	—	—
ミリスチン酸イソプロピル	—	—	—
PG	—	—	—
メントール	—	—	—
香料	—	—	—
液化石油ガス (混合物)	プロパン	—	1000 ppm
	ブタン	500 ppm	800 ppm
	ペンタン	300 ppm	600 ppm

**設備対策：**

局所排気を設置する。  
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。

**保護具：**

**呼吸器の保護具：**

適切な呼吸器保護具を着用すること。

**手の保護具：**

適切な手袋を着用すること。

**眼の保護具：**

適切な眼の保護具を着用すること。

**皮膚及び身体  
の保護具：**

適切な顔面用の保護具を着用すること。

**衛生対策：**

体を覆う衣服以外に予防措置はない。  
 この製品を使用するときは喫煙しないこと。  
 取り扱い後は良く手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

原液特性	形状	透明液
	色	無色～淡黄色
	臭い	香料臭

原液特性	値	備考・引火点測定方式
pH	データなし	
融点/凝固点	データなし	
沸点/沸点範囲	データなし	
引火点	データなし	
蒸発速度	データなし	
爆発限界値		
爆発限界上限	データなし	
爆発限界下限	データなし	
蒸気圧	データなし	
蒸気密度	データなし	
比重	0.795 (20°C)	参考値
水への溶解度	水に不溶	

有機溶剤に対する溶解性	可溶性:有機溶媒	
分配係数	データなし	
自然発火温度	データなし	
分解温度	データなし	

噴射剤特性	外観	大気圧下 : ガス状・無色透明 圧力容器下 : 液状・無色透明
	臭い	無臭であるが、若干の甘味臭
	沸点	-42~36°C
	融点	-189.7~-129°C
	引火点	-104~-49°C
	発火点	—
	爆発限界	下限1.4%, 上限9.5%
製品特性	製品内圧 : 0.24±0.05MPa (25°C)	

## 10. 安定性及び反応性

危険有害反応可能性 :	強酸化剤と反応し、発火又は爆発の恐れがある。
避けるべき条件 :	高温、火花、裸火、混触危険物質との接触
混触危険物質 :	強酸化剤
危険有害な分解生成物 :	燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素 他

## 11. 有害性情報

急性毒性 :	データなし
皮膚腐食性/刺激性 :	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 :	エタノール (区分 2A、2B)、メントール (区分 2A)
呼吸器感作性又は皮膚感作性 :	データなし
生殖細胞変異原性 :	エタノール (区分 1B)
発がん性 :	データなし
生殖毒性 :	エタノール (区分 1A)
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露) :	液化石油ガス (区分 3)、エタノール (区分 3)
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露) :	エタノール (区分 1、2)
吸引性呼吸器有害性 :	データなし

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性) :	区分外
水生環境有害性 (慢性) :	データなし
残留性・分解性 :	データなし
生体蓄積性 :	データなし
土壌中の移動性 :	データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者若しくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性・有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規則

国連番号 1950

国連品名 エアゾール

国連分類 区分 2.1

(引火性ガス)

容器等級

特別の安全対策

該当なし

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、移動、転倒、衝撃、摩擦などを生じないように固定する。

重量物を上積みしない。

移送時にイエローカードの保持が必要。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法：

エタノール

・危険物・引火性の物（施行令別表第 1 第 4 号の 3）名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号・別表第 9 の 61）

・名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条 第 1 号、第 2 号・別表第 9 の 61）

化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）：

3, 7-ジメチルオクター-1, 6-ジエン-3-イル=アセタート（別名酢酸リナリル）（管理番号：780）

消防法：

第 4 類引火性液体、アルコール類

高圧ガス保安法：

エアゾール（引火性ガスを含む加圧された製品）

船舶安全法：

エアゾール（引火性ガスを含む加圧された製品）

航空法：

エアゾール（引火性ガスを含む加圧された製品）

## 16. その他の情報

主な参考資料：

ケムアドバイザー社 LOLI データベース

防災指針

船載危険物、防災・救急便覧

国際化学物質安全性カード

危険物ハンドブック

注意：

この SDS は、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。

当該製品の危険有害性に関する情報及び評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも十分なものではありません。ご使用者の責任において実態に即した安全対策を講じて下さい。

この SDS は、法律の改正や新しい知見により予告なく改訂することがあります。記載内容の中で含有量・物理的・化学的性質などの値は当該製品の品質とは関係ありません。

この SDS は安全や品質の保証書ではありません。